2017 地域福祉情報号外 vol1

映像教材目録

ホームページでは最新（随時更新）のビデオ教材がご覧いただけます。また、一部作品については動画で視聴できます。是非ご活用ください。

→ http://www.j-tsushin.co.jp/

お問い合わせ・お申し込みは■株式会社ジャパン通信情報センター　〒151-0066 東京都渋谷区西原 3-1-8 パレス代々木上原 3F
TEL ０３－５４５２－３２４３　FAX ０３－５４５２－３２４２／ E-Mail：fukushi@j-tsushin.co.jp

高齢者福祉

仕事と介護の両立のために（全1巻）
―ワークライフバランス―

監修：佐藤 博樹　中央大学大学院戦略経営研究科（ビジネススクール）教授
松浦 民恵　ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員

価格（DVD）全１巻 92,500 円＋税　約 45 分
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》（2016 年 9 月）

ワークライフバランスシリーズ第３弾！ 仕事と介護の両立に必要な情報や事前の心構えを伝える研修教材

介護問題は今後、多くの社員が直面する課題です。介護離職を防ぐためには社員に介護に対する事前の心構えや介護に関する基礎的な知識を持ってもらうことが重要です。
本 DVD は介護に直面した社員のドラマを通じて介護に必要な情報源を提供するとともに介護を自分だけで担うのではなく介護サービスを利用してどのようにマネジメントしていくかについてを考えてもらう内容です。
ドラマ編と解説編に分かれていますのでドラマ編の後にディスカッションをすることでさらに理解が深まります。

第１部 ドラマ編
■プロローグ
■ケースドラマ１　40 代男性編
■ケースドラマ２　40 代女性編
第２部　解説編
■介護はだれもが直面する課題
■介護への事前の備え
■自分だけで抱え込まない
■管理職による支援
■エピローグ
付録：利用ガイド

社会教育DVD【高齢者の健康】
食から見た医療　食の秘める可能性を探る

監修：医療法人社団福寿会
福岡クリニック管理栄養士
日本在宅栄養管理学会 副理事長　中村 育子
指導：早稲田大学 研究院 教授　矢津 一良（認知症作品のみ）
日本歯科大学口腔リハビリテーション科 歯科医師 医学博士　佐々木 力丸

【企画意図】高齢期にも健康で、あり続けるためには、適度な運動とバランスのとれた食事が欠かせません。特に食事は、活動量が減る高齢期にも、1,500kcall 日が必要だと言われています。しかし摂食機能が低下することで、食べる量が減って、栄養不足、時には低栄養になり、体力が低下して感染症にかかりやすくなり、さらなる体力の低下を招くという悪循環に陥りかねません。
そこでエネルギーや栄養素を無理なく摂るために、食べやすくする調理の工夫や食事介助、口腔ケア、さらに新たに始まったミールラウンド（食事観察）などを具体的に紹介します。
また一方で近い将来 65 歳以上の 5 人に 1 人、約 700 万人とも推計されている認知症の予防にも、適度な運動と認知トレーニングとともに食の力が注目されています。近年の研究で DHA や EPA を多く含む青魚や抗酸化成分を多く含む緑黄色野菜などを積極的に取り入れ、バランスの良い食事を心がけると認知症の予防に効果があることがわかってきました。そして認知症を発症しても、1 人ひとりの摂食機能に応じた調理や介助を工夫することで、その進行を遅らせることも期待できます。
高齢期にとって生活の基本である「食」の役割、調理と食事介助を、最新の知見を交えながら具体的に紹介します。

長寿の鍵は食にあり～食事のケア最前線～

価格（DVD）65,000 円＋税　約 20 分
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》
介護従事者向け
【内容】
●食事観察・ミールラウンド（高齢者一人ひとりの最適な食事形態や介助のしかたを探る手法）
●高齢者に多い栄養不足（低栄養の要因、指標、また低栄養による症状とは？）
●必要な栄養と献立（高齢者でも一日 1,500kcal は必要。季節を感じる旬の野菜を使った献立例）
●調理の工夫（素材ごとに切り方、調理の仕方など、具体例を提示。注目される口腔ケアの重要性）
●食事介助のしかた（症状に合わせた食事介助。最も大切なのは食物を喉に詰まらせないと）

防げるか？認知症～注目される食の力～

価格（DVD）65,000 円＋税　約 18 分
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》
介護従事者（看護士、管理栄養士、介護士）向け
【内容】
●認知症とは？（認知症の症状、原因、治療法、種類などを専門家の解説を交えて）
●認知症を予防する食事（青魚、緑黄色野菜、良質の植物油、発酵食品などを取り入れた献立例）
●認知症の進行を遅らせる食事（進行を遅らせることが期待できる食品群、調理例）
●食事の介助（認知症患者に対する食事介助の方法と専門家のワンポイントアドバイス）
●まとめ（食事療法による認知症の予防、改善が豊かな高齢期につながり、家族も幸せでいられる）

日常生活における高齢者のヘルスアセスメント（全5巻）

原案監修：留畑 寿美江　関東学院大学看護学部 准教授
監　　修：青木 由美恵　関東学院大学看護学部 教授
藤井 千里　関東学院大学看護学部 助教

価格（DVD）150,000 円＋税／各巻 30,000 円＋税
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》（2016 年 12 月）
このシリーズは、日常生活における高齢者のヘルスアセスメントを学ぶための教材です。
看護師との会話、集団での食事、衣服の選択など、高齢者が日常生活において普段行なっている生活行動を場面ごとに再現しています。詳細に再現した生活場面から、どのような観察が出来るかを「フィジカル」「メンタル」「認知」の三つの視点から解説し、的確なアセスメントをするための観察力を身に付けることを目標とした映像教材になります。

VOL.1　入居初期からの面談を看る（24 分）

episode 1　入居初日の面談
episode 2　看護師と家族との面談（男性、入居 1 週間後）
episode 3　看護師と家族との面談（女性、入居 1 週間後）

VOL.2　面談での対応の変化を看る（26 分）

episode 1 ベッドからデイルームへの移動（入居 1 ヶ月後）
episode 2 居室へ移動～看護師と面談（入居 1 ヶ月後）
episode 3 居室へ移動～医師・看護師と面談（入居 1 ヶ月後）

VOL.3 食事場面を看る（27 分）

episode 1 食事前の休息
episode 2 デイルーム（食堂）にて昼食
episode 3 洗面所での口腔ケア

VOL.4 整容場面を看る（24 分）

episode 1 衣服の選択と私物の管理
episode 2 ひげそり・整髪
episode 3 トイレ内での衣服の着脱

VOL.5 退居前場面を看る（20 分）

episode 1 お茶の時間～看護師と家族との面談（男性、一時外泊後の変化）
episode 2 お茶の時間～看護師と家族との面談（女性、一時外泊後の変化）

運転免許返上！

あなたは運転をいつやめますか？（全1巻）

価格（DVD）全 1 巻 50,000 円＋税　17 分
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》2016 年
加齢による判断力の低下
高齢者の事故が増加しています
認知症の影響による事故・・・

【制作意図】
近年、高齢者の事故は年々増加しています。なかでも高齢者が被害者ではなく、加害者側にまわる割合が、増加の一途をたどっています。
警察庁は 1998 年、加齢や病気による身体機能の低下を感じる人に対し運転免許を自ら公安委員会に返してもらう制度を導入しました。
しかし、返納者の割合を地域別で算定したととろ、全国平均を上回った都道府県は、全体の 3 割しかなかったのです。今まさに、高齢者が免許を返納しやすい条件と環境の整備が急がれているのです。
【内容】
□安全運転教育
満 70 歳以上の方が免許証の更新をするときには、事前に自動車学校で、実施講習を受けることになっており、運転適性度をチェックする制度となっています。自動車教習所では、高齢により身体機能が低下していると思われる方など、高齢者の様々なニーズに合わせた安全運転教育を実施しています。
高齢化社会といわれる現代、加齢による判断力の低下、認知症による影響からの事故というものが多くを占め、増加の一途をたどっているのが現状です。
自分はまだ大丈夫だと、誰もが思っているのです。
□地方と都市部の条件の違い
高齢者のドライバーにとって運転することは、買い物や通院などの日常生活にとって必要であり、生活の足と大半の方が感じています。
交通網が発達している都市部は、高齢者が必ずしも車を運転する必要はありません。しかし、地方ではそうはいきません。地方ではバスを増便するといっても容易ではなく、地域で助け合う仕組みや、安全運転教育の充実が大切なのです。
□免許返納者の現状
どこに行くにも車を使っていた小原俊光さんは、バスを利用するようになり、周辺社会との関係が強まったうえに、足腰が強くなったと話されます。
家族の協力に支えられている吉尾藤逸さんは、90 歳。運転はまだできるが、事故を起こしたらと思うと家族にも迷惑がかかるので返納したと話されます。
□免許返納者サポート制度・東京
東京都内の企業や団体が平成 20 年 3 月、「高齢者運転免許自主返納サポート協議会」を発足させました O 協議会には運送会社やデ、パート、飲食届チェーンなど 37 の企業・団体が参加。運転免許を返納した上で、申請により取得できる「運転経歴証明書 J を提示すると、商品の配送が無料になったり、飲食代金などで 10% 程度の割引を受けられます。
□免許返納者サポート制度・鹿児島
鹿児島県出水警察署は、自ら運転免許証を返納した 65 歳以上の高齢者に、返納証明書を無料で交付しています。
返納証明書は、運転免許証と同じ大きさで、表面には顔写真と住所、氏名、生年月日などが記載されています。
また、返納証明書を提示するとタクシー料金の 10% が割引されたり、市内数カ所の温泉施設が特別料金で利用できるメリット制度をスタートさせました。
運転免許を返納した垣内一義さんは、メリット制度を使って毎日のようにタクシーを利用しています。
□サポート制度に参加している企業
タクシー会社
「車の維持費を考えたら、タクシーの方が得だし、タクシーは 24 時間稼働しているので安心して利用してほしい」
温泉施設
「サポート制度をもっと宣伝してほしいのと、もっと気軽に返納できる制度が必要だと思います」
返納者に対するサポート制度が全国的に広がりつつあります。
□まとめ
運転中に標識や信号機などが見づらくなったり、「ひやり」・「ハッと」などの危険な体験が多くなってきたら運転の危険信号と認識しましょう。
そしてなによりも、運転免許返納を決断するのは、運転する高齢者自身なのです。「いつまで車を運転することができますか」という問いに対する答えは、「あなたが車の運転をやめようと決心するとき」までなのです。

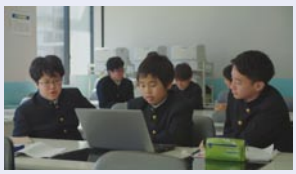
人権・社会福祉

ネットワーク社会のトラブル（全2巻）

～危険性と安全対策～

監修：本郷 健（大妻女子大学教授）
価格（DVD）全 2 巻ｾｯﾄ 28,000 円＋税
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可　ライブラリー価格 84,000 円＋税》（2016 年 5 月制作）
スマートフォンの急速な普及により、インターネット上で子供たちが、犯罪の加害者・被害者となる例が急増しています。利用する前に立ち止まって考えるべきことは何か、SNS などの最新状況に対応した具体例を通して解説します。文部科学省選定。
1. 情報と社会生活～情報活用のルールとマナー

第1巻 情報と社会生活～情報活用のルールとマナー～（17分）



SNS の普及により、安易な発信にインターネット上で子供たちが、罪の意識なく犯罪の加害者・被害者となる例が急増しています。情報ネットワークを利用する前に立ち止まって考えるべきポイントを、具体例を通して解説します。
●インターネット・コミュニケーションの特徴と注意点　●安易な投稿と“炎上”　●インターネットの犯罪～あなたも加害者に～　●正しくない情報～情報を活用する際の注意点～

第2巻 情報モラル トラブル集～スマートフォンのトラブル対策～（20分）

LINE など、SNS を使ったネットいじめ、オンラインゲームの高額課金、ケータイ依存など、いま子供たちの間に急速に広まる、スマートフォンなど情報端末を使用する際のトラブルとその対処法を、最新の事例を取り上げて解説します。
《SNS のトラブル》●ネットいじめ　●投稿による個人情報の流出　●機能による個人情報の流出　●オンラインゲームの高額請求　●不正アプリのダウンロード
《ネット依存》●心への影響～ケータイ依存・ケータイ不安～　●ながらケータイ、歩きスマホ

生命尊重教育のための DVD 教材
いのちと死の授業（全6巻）

総監修：伊藤 美奈子（奈良女子大学 生活環境学部 教授）
相馬 誠一（東京家政大学 人文学部心理カウンセリング学科 教授）
価格（DVD）全 6 巻ｾｯﾄ 114,000 円＋税／各巻 19,000 円＋税
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》2017 年 1 月制作
当 DVD は児童･生徒や教育関係者が生命の尊さや生きることの価値を様々な視点から気づき学べる映像教材です。
いじめなどを原因として自ら生命を絶つ子どもが後を絶たず、また、暴力や暴言、ネットなどを通した誹謗中傷などにより、他者の心や身体を傷つけたり、生命を奪ったりする事件も起こっています。その背景には、子どもの死生観の変化や、死に触れる機会が減少していることなどがあるといわれています。今後ますます重要になる生命尊重教育でご活用ください。
《特徴》
● 再現 VTR や、生命の尊さや生きることの価値を気づかせ広めるための活動をしている方や団体への取材を豊富に収録しています。
● 授業用映像のほかに、教育関係者向けの解説を各巻に収録。先生が授業で生徒に見せる前にポイントを理解することができます。
● 講演会や授業は、その内容を体感できる構成としています。
《対象・使用例》
■ 小学校高学年～高校の児童・生徒（生徒指導、教育相談の特別活動や道徳教育の映像教材として最適です。各巻約 30 分ですので、視聴後に生徒自らが考える時間や、ディスカッションにあてられます。）
■ 教員・教育関係者・カウンセラー（校内や自治体でのいじめ予防対策、自殺予防対策、生徒指導・教育相談のための講習・自習資料として。）
■ 保護者（保護者会での勉強会用の映像資料として。）
■ 教員を志す学生（生徒指導・教育相談、道徳教育の勉強用として。）

■ 心理・社会福祉・医療分野を志す学生
人間のいのちや死にかかわる社会的課題を取り上げていますので、ヒューマンケアに携わる方々にも有用な内容です。

第1巻 難病と闘って～今このときのいのちを輝かせるために～（約 30 分）

監　　修：伊藤 美奈子
協力・出演：NPO 法人血液患者コミュニティももの木
対　　象：小学校高学年以上

“死とは何か”、“何のために生きているのか”、“いかに生きていくべきか”―。誰もが考えるこのテーマについて、闘病に向き合った方々の講演を通して考える。NPO 法人「ももの木」は白血病やがんなどの患者の方やその家族が集い、悩みを共有したり交流したりする活動をしており、そのメンバーは、“いのち”や“生きること”について力強い思いを持っている。彼らは、常に死と隣り合わせの闘病の日々から生き抜いたことで感じたこと，得たことなどを伝えるために、小学校から大学まで幅広い対象へ自らの闘病体験を語る“いのちの授業”を行っている。この巻では、「ももの木」の小学校での講演や、メンバーへのインタビューを通して、“死という限りがあるからこそ、生きている今を輝かせて大切にしよう”というメッセージを伝える。

第2巻 殺処分から救われ人を助ける犬に～動物のいのち～（約 30 分）

監　　修：伊藤 美奈子
協力・出演：日本レスキュー協会
対　　象：小学校高学年以上

日本では年間約 10 万頭もの犬や猫が殺処分されている。この巻では、人間の都合でたくさんの命が殺処分されてしまう現実があることや、この現状を変えようとしている日本レスキュー協会の活動を知り、命の尊さについて考える。日本レスキュー協会では、保健所で預かっている犬や、虐待や飼育放棄を受けている犬、被災地で飼育できなくなってしまった犬を引き取り、里親を探したり、適性がある犬は災害救助犬やセラピー犬として訓練する活動をしている。その活動は、犬たちが人の社会に慣れ、人と犬が互いに貢献し合える社会をつくる上で大きな意義がある。最初は人におびえていた犬たちが、愛情ある訓練により人を助ける犬に成長していく過程を通して、動物たちにも人と同じ尊い命があること、安全安心な環境さえあればどんな命も輝くことができることなどを伝える。

第3巻 いじめ・自殺を防ぐ～いのちを守るために①～（約 30 分）

監修：相馬 誠一
対象：中学生以上

毎年 300 人以上の子どもたちが自殺している。その要因・動機として、学校問題、学業不振、進路に関する悩み、友人関係、いじめなど学校で起こる問題が多く挙げられており、学校や家庭での周りの気づきや適切な対策が必要である。この巻では、今まで自殺にいたってしまった子どもたちの３つの例をドラマで再現し、現代の子どもたちが自殺へ追い込まれてしまう原因について解説。そして、周りでの気づきを促したり、自尊感情を育てたりするために実際に学校で行われている活動も紹介する。

第4巻 学校における自殺予防教育～いのちを守るために②～（約 30 分）

監修：相馬 誠一、阪中 順子（四天王寺学園中学・高校カウンセラー）
対象：中学生以上

子どもたちの自殺を予防するためには、学校や地域全体での取組みが必要となる。ここでは実際に行われている体験型授業を紹介する。
この授業は教員の一方的な知識伝達のスタイルではなく，教員と児童生徒，または児童生徒同士が自殺予防について実感を伴いながら学び合う相互交流を重視した参加型の授業である。ブレインストーミングやロールプレイなどの集団活動を伴う体験的学習を通して，各自の自由な発想を出し合い、自分とは異なる思いや考え方にふれることが多様性を認め合い仲間との絆を深めることを可能にする。この授業の一部の再現や、ポイント解説を収録。

第5巻 少年犯罪をなくすために～人のいのち・自分のいのち～（約 30 分）

監修：相馬 誠一、竹下 三隆（京都府・堺市・四条畷市スクールカウンセラー）
対象：中学生以上

少年による重犯罪が増加し、注目されている。その原因として、家庭や学校での人と人とのつながりが希薄になっていること、家庭で適切なしつけが行われていないことなどが挙げられている。この巻では、その背景を考察するとともに、子どもを犯罪から遠ざけるために学校や家庭、地域でできることを少年刑務所の教育やカウンセリングから学ぶ。ある少年刑務所で行われている教育法を紹介し、現代の少年が罪を犯す心理やその背景を解説する。教育の一つ“ドールセラピー”は、産まれたばかりの赤ちゃんと同じ重さの人形を抱き、罪を犯すずっと前である赤ちゃんの自分に伝えたいことを語りかけることで、奪ってしまったいのちと、自分のいのちに向き合う。

第6巻 流産・死産経験者からお空の天使への手紙～生まれてくる大切ないのち～（約 30 分）

監　　修：伊藤 美奈子
協力・出演：ポコズママの会
対　　象：中学生以上

赤ちゃんがこの世に産まれてくるには母親のお腹のなかでいくつもの試練があり、実は流産・死産経験者が多いことはあまり知られていない。流産・死産はとても重く悲痛な経験であるにもかかわらず、母親や夫婦は自らを責め、その悲しみを内に閉じ込めてしまうことが多いという。その悲しみを共有し支援することを目的としたコミュニティーサイト“ポコズママ”では、カフェや HP 上で経験者同士の交流を行っている。この巻では、悲しみを乗り越えるために、流産経験者同士が自らの悲痛な体験を語り合う交流の場の意味や、経験談を紹介

障害者福祉

DVD で学ぶ精神科ソーシャルワーク入門（全3巻）

価格（DVD）全３巻ｾｯﾄ 60,000 円＋税／各巻 20,000 円＋税
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》2016 年 12 月

第1巻 精神保健福祉士の歴史と背景 精神障害者の人権擁護のために（30 分）

監修・解説＝ 齋藤敏靖（東京国際大学 教授）
第 1 巻解説＝ 助川征雄（聖学院大学 教授）
精神障害という重荷は、医療だけでは除くことができない－第 1 巻解説

精神障害を持つ人たちは、大きな生きづらさを抱えながら長い間生きてゆかなければなりません。幻聴や幻覚などの症状は、慢性的な症状として残る場合も多く、認知やコミュニケーションに重い障害を抱えている人もたくさんいます。
そうしたことは、その人の人生に重くのしかかってきます。つまり、精神障害という重荷は、医療だけでは除くことはできないのです。
そこで、医療と社会生活の橋渡しをするのが、精神科ソーシャルワークという技術です。そして、その技術を活用しながら専門的な援助を展開するのが精神保健福祉士（PSW）です。
第 1 巻では、精神医療の歴史と精神保健福祉士の成り立ちを、その歴史を辿りながら解説します。特に、精神科ソーシャルワークにとって重要な人権問題として、戦前の私宅監置やライシャワー事件に代表される精神病患者の隔離政策、その象徴として 1969 年に起こった Y 問題を取り上げます。
この時の事件経過を関係者として見届けた、聖学院大学・助川征雄教授に当時を振り返りながら解説を頂いています。
チャプターリスト
・オープニング　・私宅監置の時代　・強制入院の時代　・ライシャワー事件
・Y 問題　人権侵害について　・精神障害者の権利擁護　・精神保健福祉法の改正から現在　・まとめ

第2巻 精神科医療現場におけるソーシャルワーク 医療現場におけるチームアプローチ（22 分）

監修・解説＝ 齋藤敏靖（東京国際大学 教授）
第 2 巻解説＝ 後藤雅博（恵生会南浜病院 教授）
精神障害という重荷は、医療だけでは除くことができない－第 2 巻解説

精神保健福祉士（PSW）という職種は、我が国では、戦後間もない頃に国立国府台病院で採用された社会事業婦に源を発しています。以来、精神科医療の現場で、重要な支援者としての役割を果たしてきました。しかし、過去には、患者さんの人権を侵す行為に加担してしまうなど、様々な経緯をへて現在に至っています。
そうした歴史を踏まえた上で、私たちは、精神保健福祉士として必要な基本的知識や視点を身につけ、多様な立場から精神科ソーシャルワークの神髄を学び取ってほしいと思っています。
第 2 巻では、医療の中での精神科ソーシャルワークについて学びます。精神保健福祉士が、治療とリハビリテーションの行程にどう関わっているのか、を医療現場での実践に基づいて描きます。医師として、数多くの看護師やワーカーの教育にあたってきた恵生会南浜病院、後藤雅博院長が、医療の中でのソーシャルワークの重要性について解説します。

チャプターリスト
・医療チームの一員として　・精神保健福祉士の業務特性　・ある患者さんの事例（再現ドラマ）　・医療と社会をつなぐ倫理行動　・まとめ

第3巻 包括的な地域生活支援のために NPO 法人「じりつ」の活動る（24 分）

監修・解説＝ 齋藤敏靖（東京国際大学 教授）
第 3 巻解説＝ 岩上洋一（NPO 法人「じりつ」 理事長）

精神障害という重荷は、医療だけでは除くことができない－第 3 巻解説

このビデオは、テーマごとに各分野で最も先端的な活動をしている精神科ソーシャルワークの専門家たちによる事例を基本に構成されています。
日本の精神科医療は、世界の潮流に大きく乗り遅れている、と指摘されてから長い時が過ぎています。これまでの収容型精神科医療から、一日も早い開放型への転換が求められています。
第 3 巻では、精神科医療の潮流としての脱施設化、退院促進の動きの中で、その重要性が年々増している、地域社会で活動する精神保健福祉士（PSW）に焦点を当てます。
埼玉県で活動する NPO 法人「じりつ」では、障害福祉サービス事業として、地域づくりを通した精神障害者への支援活動を行っています。当事者のリカバリーを促進する地域づくりを積極的に展開する活動を取材しました。地域で生活する当事者をどうサポートしていくのか、をソーシャルワークの視点で学びます。解説は、同法人の岩上洋一理事長が担当します。
チャプターリスト
・オープニング　・地域生活支援に必要なこととは　・リカバリーを進める就労支援や地域づくり　・地域における精神保健福祉士の役割　・まとめ

うつ病・双極性障害の臨床（全2巻）

監修：加藤 忠史（国立研究開発法人理化学研究所
精神疾患動態研究チーム シニア・チームリーダー）

価格（DVD）全 2 巻ｾｯﾄ 60,000 ＋税／各巻 30,000 ＋税
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》（年制作）

最新の研究成果から病気の全体像を導き、治療に必要な情報をバランスよく網羅

うつ病と双極性障害は、ともに重い抑うつ症状を特徴としてもちながら、全く別の病気です。
うつ病は、はじめは身体症状が先行することが多いため、精神科以外の診療科を受診することが多く、双極性障害では、約 8 割の患者さんが、最初は、双極性障害以外の診断名を告げられた、というデータもあります。
同じ抑うつ状態でも、双極性障害では、うつ症状に効果的な薬物を使用した場合、急激な" 躁転" を引き起こす可能性があります。また、うつ病、双極性障害以外にも、抑うつ症状を呈する病気はいろいろあります。
このビデオは、より具体的なイメージでお伝えできるように、専門医の監修を受けながら、症状や診察のイメージを再現しています。さらに、いま最も注目されている心理社会的療法、対人関係・社会リズム療法についても、詳しくとりあげています。
正確な診断と的確な治療によって、より多くの人たちが、この病気から立ち直ることを願います。

第1巻 うつ病の診断と治療（66 分）

うつ病は、患者数の多さと社会的影響の深刻さにおいて、 現代を代表する病である。

〈序論〉 うつ病と双極性障害の鑑別診断
第 1 巻、第 2 巻共通の序論として、うつ病と双極性障害の鑑別診断をとりあげました。ともに抑うつ症状を特徴とする疾患ですが、具体的な治療法は全く異なる疾患です。そのため、鑑別診断がとても重要です。
その 1　うつ病とは、どういう病気か？
うつ病の症状やその分類などを中心に、確かな診断のために必要とされる知識を、わかりやすくまとめました。症状に応じた診断場面を再現し、DSM-5 の診断基準も詳しく紹介しています。
その 2　うつ病の治療
うつ病は、薬物療法、精神療法、心理社会的療法、修正電気けいれん療法などを的確に組み合わせて、治療をすすめていきます。うつ病治療に用いられる薬物を解説し、集団認知行動療法、対人関係療法、修正電気けいれん療法の場面をご紹介します。

第2巻 双極性障害の診断と治療（57 分）

双極性障害の治療の重点は、 再発をいかに防ぐかにある。

〈序論〉 うつ病と双極性障害の鑑別診断
第 1 巻、第 2 巻共通の序論として、うつ病と双極性障害の鑑別診断をとりあげました。ともに抑うつ症状を特徴とする疾患ですが、具体的な治療法は全く異なる疾患です。そのため、鑑別診断がとても重要です。
その 1　双極性障害とは、どういう病気か？
双極性障害は、抑うつ状態が現れることが多いため、最初はうつ病と診断されることが多い疾患です。患者さんたちの集いに取材し、実際に体験した生の声をご紹介します。さらに、双極性障害の発症を専門医の監修の上で再現しました。双極性障害がどのように人の一生に影響を及ぼすのかが、よくわかる内容となっています。
その 2　双極性障害の治療と予防
双極性障害の治療目標は、再発を防ぐことです。薬物療法の基本を踏まえながら、生活のリズムをどう整えていくのか、を中心に構成されています。双極性障害に用いられる薬物や薬物による躁転の危険性、集会を通じての心理教育の実際、社会リズム療法のすすめ方などをできるだけ具体的にとりあげました。

療育・幼児教育

保育者養成校における子育て支援活動～親子を繋ぐ きっかけ作り～（全2巻）

監修・企画：聖徳大学大学院 教授　薮中 征代
聖徳大学短期大学部 教授　近内 愛子
企画　協力：聖徳大学短期大学部 教授　塚本美知子
撮影　協力：聖徳大学短期大学部 保育科
学校法人松本学園しんまつど幼稚園

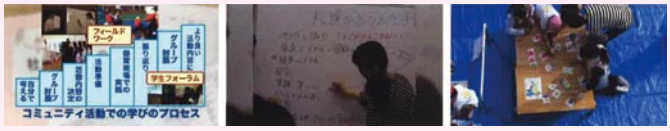
価格（DVD）全 2 巻ｾｯﾄ 45,000 ＋税／各巻 25,000 ＋税
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》（2017 年 1 月制作）

「子育て支援」とはどのようなものでしょうか。聖徳大学短期大学部保育科の学生たちは、地域の施設の支援を受けながら一年間にわたり、少人数のグループに分かれて、主体的に子育て支援活動を行いました。この活動の記録を通じて、子育て支援とは何か、そして保育者養成校と地域の子育て支援を実践している施設 (本作品では幼稚園を取り上げています) との協働の姿などについて紹介します。

第1巻 学内授業 ˝ 春学期フィールドワーク（30 分）

事前学習と討議によって子育て支援に関する知識を身に付け、地域の園の子育て支援に部分的に参加する形でフィールドワークを行い、その活動を振り返ります。
○学内授業自分で考える～グループ討議
○春学期フィールドワーク活動内容決定～活動準備
○春学期フィールドワーク幼稚園での実践
○春学期フィールドワーク振り返りと中間発表

第2巻 秋学期フィールドワーク ˝ 学修のまとめ(30 分)



学生たちはより能動的に企画したフィールドワークを行い、「わたしたちにできる子育て支援」について、また保育者として子どもや保護者と関わるための糧となるよう、考えをまとめていきます。
○秋学期フィールドワーク　活動内容決定～活動準備
○秋学期フィールドワーク　幼稚園での実践
○ 1 年間のフィールドワーク　振り返り
○成果の発表　学生フォーラムでのグループ発表と個人の発表

幼児の発達を支えるマザリーズ（全2巻）

監　　修：名古屋女子大学短期大学部保育学科講師　児玉 珠美
監修協力：同志社大学心理学部教授　内山 伊知郎
協　　力：目北名古屋市子育て支援センター
名古屋市瑞穂区児童館
社会福祉法人信竜会信竜こどもの森児童館
社会福祉法人福寿会ひかり保育園
名古屋女子大学短期大学部保育学科／マザリーズの会
マザリーズ教室 音楽担当 愛知教育大学 非常勤講師　嶋田 ひろみ
マザリーズ教室 体操担当 産後ケアアドバイザー　若子 理愛子

価格（DVD）全 2 巻ｾｯﾄ 21,600 ＋税／各巻 12,000 ＋税
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》（2017 年 1 月制作）

マザリーズとは、乳幼児に対する語りかけ方のことです。特徴として　①普段よりやや高めのピッチ　②ゆっくりとなる速度　③大きく付く抑揚の　3 点が挙げられ、どのような言語や民族であっても共通してみられます。マザリーズの誇張するような話し方は乳幼児にとってどのような効果があるのか、心理学や脳科学の領域から、わかりやすく解説します。また、より豊かなマザリーズができるように、親子でマザリーズを楽しむマザリーズ教室の紹介もしていきます。

保育者養成課程で学ぶ学生の皆さんや現場の保育者の方々、また子育てサークルの皆様方等にご覧いただき、マザリーズについてのご理解を深めていただければと願っております。

第1巻 マザリーズの効果（23分）

マザリーズで乳幼児に語りかけるとどのような効果があるのでしょうか。心理学や脳科学の先行研究で実証された内容を、実際の乳児親子の様子を見ながら学びます。
マザリーズが乳幼児の発達にとって不可欠なものであることを理解していきます。

第2巻 マザリーズ教室紹介（26分）

乳幼児を前にすると自然に表出すると言われてきたマザリーズですが、苦手な方もいるようです。赤ちゃんと一緒に楽しんでいるうちに、自然と豊かなマザリーズ表現ができるようになる教室を紹介します。ぜひ授業や地域の親子教室で取り組んでみて下さい。

音楽的な遊びに見る乳幼児の発達（全4巻）

監修：京都教育大学 教育学部 幼児教育科 准教授　平井 恭子

価格（DVD）全4巻ｾｯﾄ 108,000円＋税／各巻 30,000円＋税

《公共図書館・視聴覚ライブラリー＝貸出可・上映可》（2016年9月）

京都教育大学で幼児の音楽的発達について研究している平井先生は、長女のみきちゃんの家庭での遊びの様子を0歳から5歳まで撮影し続けました。その中で、2歳年下の次女のさっちゃんとの関わりも捉えられています。これらの映像から、子どもがことばやうた、身体の動きなどを使って声と身体の動きを同期させたり、他者とコミュニケーションしたりしながら成長していく様子を自然な生活の流れの中で見ることができます。
みきちゃんの0歳から5歳までの遊びの姿から、音楽的発達の道すじを動きやことば、社会性など、乳幼児の総合的な発達をふまえながら分かりやすく解説します。

第1巻 0～1歳 編（30分）

2か月 母が歌う「ぞうさん」に声を出して反応
3か月 母が歌う「ぞうさん」に声を出して反応
4か月 母と声のやりとり
4か月 母の「ほたるこい」に笑って反応
6か月 はいはいで前進
6か月 母と「おもちゃのチャチャチャ」を楽しむ
7か月 つかまり立ち
7か月 声とリズミカルな身体の動きが同期する時期
8か月 盛んに一人で喃語を発声
11か月 手遊びの一部を覚えて再現
1歳0か月 「いないいないばあ」の再現遊び
1歳0か月 ミルク缶をスティックで打ち鳴らしながら発声
1歳0か月 絵本「いないいないばあ」を見ながら「ばあ」と発声
1歳1か月 「いぬのおまわりさん」に合わせて「わんわん」と発声
1歳3か月 おじいちゃんと遊びながらおしゃべり
1歳3か月 歌うようなそぶりを見せる
1歳3か月 段差を降りるときの「おっ」という発声
1歳4か月 「いないいないばあ」の絵本をめくりながら発声
1歳6か月 絵本「まり」を読む
1歳7か月 音の出る童謡絵本で遊ぶ
1歳7か月 「いただきます」のごあいさつ
1歳9か月 絵本のねこを見て「いぬのおまわりさん」を歌う
1歳11か月 「もこもこもこ」を読む

第2巻 2歳 編（30分）

2歳0か月 「ぶーらんぶーらん」と唱えながら身体を揺らす
2歳0か月 「おうまの親子」を歌いながら腰を動かす
2歳0か月 「フレールジャック」に合わせてスウィング
2歳3か月 「うさぎ」をスウィングしながら歌う
2歳5か月 手遊び「キャベツの中から」
2歳5か月 「ハッピーバースデー」を手拍子しながら歌う
2歳5か月 「雨ふり」をスウィングしながら歌う
2歳6か月 「ちょうちょ」を歌いながら手を動かす
2歳6か月 「ことりのうた」を歌いながらタッピング
2歳6か月 「おもちゃのちゃちゃちゃ」を妹に歌いきかせる
2歳6か月 妹と声を出し合って遊ぶ
2歳6～7か月 歌いながら移動
2歳7か月 妹（0歳11か月）が歌に反応
2歳7か月 「さっちゃん」の歌に合わせて妹の鼻を押す
2歳7か月 歌いながらゼリーカップをタッピング
2歳8か月 「さっちゃん」の歌に合わせて妹を指さす
2歳8か月 妹のお腹をたたきながら歌う
2歳9か月 「でんでらりゅうば」を歌いながら全身を動かす
2歳9か月 ブロックをピアノに見立てて歌う
2歳9か月 妹の手をとって踊ろうとする
2歳11か月 即興的に歌う
2歳11か月 即興的に歌いながら体を揺らす

第3巻 3歳 編（30分）

3歳0か月 「サンタちゃんの贈り物」歩きながら唱える
3歳1か月 「こんにちはどんぐりちゃん」歩きながら唱える
3歳2か月 机を叩きながら数を唱える
3歳3か月 鏡を拭きながら歌う
3歳4か月 絵本を見ながら「ちょうちょ」を歌う
3歳4か月 「おはながわらった」を歌いながらタッピング
3歳5か月 「おひめさま」歌いながら歩く
3歳6か月 ままごとをしながら歌う
3歳6か月 「かぼちゃスープ」頭を叩きながら唱える
3歳6か月 妹が発声→笑う…を繰り返す
3歳7か月 肩を上下させながら歌う
3歳7か月 木のパズルを叩きながら即興的に唱える
3歳7か月 歌いながら手と足を動かす
3歳8か月 「まるの線に入る」と唱えてジャンプ
3歳8か月 「ドレミのうた」を歌いながらスティックで足台を叩く
3歳8か月 唱えながらおもちゃを並べる
3歳8か月 スティックで台を叩きながら即興的に歌う
3歳9か月 人形の寝かしつけ
3歳9か月 「てぶくろ てぶくろ…」唱えながら歩く
3歳9か月 「じゃじゃじゃじゃん…」指揮者あそび
3歳11か月 「おきがえできた」唱えながら足踏み
3歳11か月 かけ声をかけながら妹と交互にジャンプ

第4巻 4歳～5歳 編（30分）

4歳1か月 「これとぉ～」唱えながらパズルのピースをとる
4歳1か月 「くるっくるっ」唱えながら床をはう
4歳2か月 「かにかにダンス」唱えながら歩く
4歳2か月 「でんでん電車」唱えながら線路を描く
4歳2か月 「うさぎもぴょんぴょんぴょん」唱えながらギャロップ
4歳4か月 「アネム アネム」唱えながらジャンプ
4歳6か月 唱えながらドレッシングをつける
4歳6か月 唱えながら歩き「はい あげる」で手渡す
4歳6か月 折り紙に絵を描きながら歌う
4歳6か月 唱えながら うちわを裏返す
4歳7か月 「ぶちだらけの人…」唱えながらスキップ
4歳9か月 ハミングしながらカスタネットを打ち歩く
4歳11か月 「みきちゃんみどり組」唱えながらスキップ
4歳11か月 妹と歌いながら豆まき
5歳0か月 「ぐるぐる」唱えながらランニングをする
5歳0か月 折り紙を鍵盤に見立てて「どれみふぁ」と歌う
5歳1か月 いろいろな声を出しながらイメージの世界で遊ぶ
5歳1か月 「ぱっぱかぱっぱか」きりんの親子ごっこ
5歳1か月 妹とソファーで電車ごっこ
5歳2か月 「ながいへびさん」妹とつながって床をはう
5歳3か月 「コックさん」絵かきうた
5歳3か月 「きのう土曜日だった」唱えながら歩く
5歳3か月 「バナナでてこい」唱えながら歩く
5歳4か月 折り紙を折りながら手順を唱える
5歳4か月 音楽に合わせて容器を叩く
5歳8か月 妹と掛け声をかけ　一緒にジャンプ
5歳9か月 唱えながら片足跳び　タイミングを合わせて壁にタッチ
5歳10か月 リズムを鳴らしながらハーモニカを吹く
5歳10か月 妹と2人で　振り付けを考えながら踊る
5歳11か月 マリオネットを歌いながら動かす

看護教育

老年看護 援助技術シリーズ（全10巻）

総監修：粟生田 友子　国立障害者リハビリテーション病院 看護部長
綿貫 成明　国立看護大学校 老年看護学 / 長寿看護学 教授

価格（DVD）全10巻ｾｯﾄ 300,000円＋税／各巻 30,000円＋税

《公共図書館・視聴覚ライブラリー＝貸出可・上映可》（2016年12月制作）

今後ますます増加する高齢患者に対し看護師が必要とする知識・技術を高齢者に代表的な各障害別にくわしく映像で解説。

加齢による生理的変化・精神的変化・心理的変化を理解し具体的な事例をもとに実際の援助技術を紹介します。

第 1 巻 高齢者の生理機能の変化
監修：石川 ふみよ　上智大学 総合人間科学部看護学科 教授

第 2 巻 高齢者の精神・心理・社会的変化
監修：粟生田 友子　国立障害者リハビリテーション病院 看護部長
綿貫 成明　国立看護大学校 老年看護学 / 長寿看護学 教授

第 3 巻 脳神経系の障害を持つ高齢者への援助技術
監修：下村 晃子　横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 慢性疾患看護専門看護師

第 4 巻 循環器の障害を持つ高齢者への援助技術
監修：三浦 稚郁子　榊原記念病院 副院長兼看護部長

第 5 巻 呼吸器の障害を持つ高齢者への援助技術
監修：竹川 幸恵　大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 慢性疾患看護専門看護師

第 6 巻 運動器の障害を持つ高齢者への援助技術
監修：鈴木 みずえ　浜松医科大学 医学部看護学科 臨床看護学講座 老年看護学 教授

第 7 巻 皮膚障害を持つ高齢者への援助技術
監修：室岡陽子　東京慈恵会医科大学 医学部看護学科 講師

第 8 巻 認知機能障害を持つ高齢者への援助技術
監修：六角 僚子　獨協医科大学看護学部 在宅看護学領域 教授
種市 ひろみ　獨協医科大学看護学部 在宅看護学領域 准教授

第 9 巻 コミュニケーション障害を持つ高齢者への援助技術
監修：堀内 園子　グループホームせせらぎ ホーム長（看護学博士）

第 10 巻 睡眠障害を持つ高齢者への援助技術
監修：長谷川 真澄　札幌医科大学保健医療学部 看護学科 教授

実習前に必ず見よう！事例で学ぶヒヤリ・ハット（全2巻）

原案：鈴木 美奈（浜松医科大学 看護学科 准教授）
監修：片山 はるみ（浜松医科大学 看護学科 教授）
価格（DVD）全 2 巻ｾｯﾄ 56,000 ＋税／各巻 28,000 ＋税
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》（2016 年 12 月制作）
この DVD は、実習場面でよく起こるヒヤリ･ハットや事故の事例から、「何がヒヤリ・ハットにつながるのか」、「どうして事故になったのか」について、見て学ぶだけではなく、事例の後の Question を考察することにより、いかなる看護場面でも事故や危険を予測できるスキルや視点を養うことができます。看護実習前のガイダンス、基礎看護 技術演習での注意すべきポイント、医療安全のシミュレーション学習としてぜひご活用ください。

Vol.1 あらゆる看護行為に潜むヒヤリ･ハット（37 分）
～危険予測スキルを身につけよう 1～

ヒヤリ・ハットは、あらゆる看護行為に潜んでいます。 この巻では、看護実習で起こりやすいヒヤリ･ハット として「環境整備」、「血圧測定」、「移乗・移送」、「患 者情報」の 4 つの事例を取り上げ、事故や危険を予測 するスキル・視点を養います。

Index
●ヒヤリ・ハットとは 4:43
●ヒヤリ・ハット事例集 Question 1 環境整備でヒヤリ・ハット 4:03
Answer4:14
Question 2 血圧測定でヒヤリ・ハット 2:23
Answer4:15
Question 3 移乗・移送でヒヤリ・ハット 2:25
Answer4:01
Question 4 患者情報でヒヤリ・ハット 2:56
Answer5:40
●実習・臨床に出る前に 2:05

Vol.2 患者アセスメントに潜むヒヤリ･ハット（36 分）
～危険予測スキルを身につけよう 2～

ヒヤリ・ハットは、患者のアセスメントの不足から起こ るものもあります。この巻では、アセスメント不足を 中心としたヒヤリ・ハットとして「患者のリスク把握」、「排泄介助」、「清潔援助」、そして看護実習で起こりや すい「配慮不足」の 4 つの事例を取り上げ、事故や危険 を予測するスキル・視点を養います。

Index
●ヒヤリ・ハットとは 4:55
●ヒヤリ・ハット事例集 Question 1 状態把握でヒヤリ・ハット 4:58
Answer5:08
Question 2 排泄介助でヒヤリ・ハット 3:04
Answer3:28
Question 3 清潔援助でヒヤリ・ハット 3:23
Answer3:47
Question 4 多床室でヒヤリ・ハット…2:02
Answer3:44
●実習・臨床に出る前に 1:46

最新作　認知症の人とその家族の暮らし、その暮らしを支える周りの人間を観る
シリーズ認知症形態別事例集
認知症とともに生きていく（全2巻）
～認知症になっても住み慣れた地域で穏やかに暮らしていく～

《対象》福祉系大学、短大、専門学校、高等学校、介護福祉養成施設、社会福祉事業団、看護学校、社会福祉協議会、福祉人材センター、福祉事務所、地域包括支援センター、介護実習普及センター、各種介護施設、自治体など
価格（DVD）全 2 巻ｾｯﾄ 35,000 円＋税／各巻 18,000 円＋税
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可　ライブラリー価格全 3 巻ｾｯﾄ 52,500 円＋税／各巻 27,000 円＋税》（2017 年 1 月制作）

第 1 巻アルツハイマー型認知症 ～88 歳と 84 歳のご夫婦の生活を観る～（22 分＋解説 8 分）

《推薦の言葉》
“認知症になっても住み慣れた町で家で住み続けたい” 本人や家族の思いと、それを支える地域のカが一体となってその希望を実現することができました . 誰もが迎える老後を考えるのによい教材です。
社会医療法人財団石心会 川崎幸クリニック院長・認知症の人と家族の会 神奈川県支部代表　杉山 孝博

【内容】
○プロローグ T さんの現在の状況 / 家族構成
認知症発症から現在までの経過 / 現在受けている介護サービス
○訪問診療杉山先生と T さんのご家族との会話
○ T さんのアルツハイマー型認知症発症直後の様子 (現在から 4 年前の様子)
○夫 K さんと実妹 M さんインタビュー
・T さんはどのような人だったか (性格・趣味等)
・T さんの様子が変だと思ったきっかけ (身内の目線から)　・認知症発症当時の介護の苦労
○杉山先生インタビュー
・アルツハイマー型認知症について　・認知症の自然経過について
○小規模多機能型ひつじ雲での T さんの暮らし
・音楽ボランティアさんからみた T さん　・職員からみた T さん、そのケア
○ひつじ雲仲介による家族会の様子
・介護の悩みを相談し合う参加者　・参加者インタビュー家族会のメリット
○ T さん自宅の様子
・実妹 M さんの食事の介護　・実妹さんインタビュー親族で支え合うケア
・夫 K さんインタビュー T さんと今後どのように暮らしていきたいか
○特別収録　～杉山先生が T さんの認知症の病状経過を解説する～ (図表つき)
撮影協力：社会医療法人財団石心会 川崎幸クリニック
小規模多機能型居宅介護 ひつじ雲

第 2 巻 レビー小体型認知症 ～患者と家族を支え・ケアする在宅医療の力～（約 24 分）

《推薦の言葉》
在宅医療では怠者本人のみならずそのご家族も令めた療養空間に対するケアが重要です。本作品で実際の在宅医療現場をご覧頂き在宅療養で自分らしく生きるため、またそれを支援するためのヒントを見つけて頂けたら幸いです。
医療法入社団 至高会
たかせクリニック理事長 高瀬義昌

【内容】

○プロローグ A さんの現在の状況 / 家族構成
認知症発症から現在までの経過 / 現在受けている介護サービス
○実娘 Y さんインタビュー A さんはどのような人だったか (性格・趣味等)
○訪問診療　高瀬先生の診断・ケア
○高瀬先生インタビュー
・レビイ小体型認知症とは　・その症状・特徴
○実娘 Y さんインタビュー
・A さんの様子がおかしいと思ったきっかけ (自分の気づき周りの人の気づき)
○ A さん訪問診療の映像を通して
・高瀬先生インタビュー　～ A さんの訪問診療において大切にしている事～
・実娘 A さんインタビュー　～訪問診療を頼んだきっかけ～～高瀬先生のケアについて～
・高瀬先生インタビュー　～訪問診療で大切にしている事 (すべての患者さんに対して)
○デイサービスでの A さんの様子
・職員からみた A さんのデイサービスでの暮らし
○ A さんの訪問診療の映像を通して
・高瀬先生インタビュー　～住み慣れた地域で暮らし続けること～
在宅診療の目から
○実娘 Y さんインタビュー
・母の現在、これから
撮影協力：医療法人社団至高会 たかせクリニック
　　社会福祉法人 池上長寿園

最新作　看護師不足・職員の高齢化に悩む全国の病院へ向けたメッセージ

て・あーてと福祉用具を活用したある地方病院の取り組み（全3巻）

～危険性と安全対策～

監修：川嶋 みどり　健和会臨床看護学研究所 所長
　　日本赤十字看護大学名誉教授
　　窪田 静　愛媛県立医療技術大学 保健科学部看護学科 准教授
　　健和会補助器具センター前所長
協力：医療法人朝陽会　美須賀病院
《対象》看護大学、短大、専門学校、病院内研修、看護師、作業療法士、理学療法士、その他
価格（DVD）全 3 巻ｾｯﾄ 50,000 円＋税／
　　第 1 巻 15,000 円＋税 第 2,3 巻各 18,000 円＋税
《公共図書館・視聴覚ライブラリー＝貸出可・上映可　ライブラリー価格全 3 巻ｾｯﾄ 75,000 円＋税／第 1 巻 22,5000 円＋税・第 2 巻第 3 巻各 27,000 円＋税》(2017 年 1 月制作)

監修者より
健和会臨床看護学研究所所長　日本赤十字看護大学名誉教授　川嶋 みどり
このビデオは、実践編としての優れた内容を持っていると同時に、私は多くの看護管理者の方達に是非見て欲しい。現場の中、今看護師たちが人手不足とか機械化とか高齢化とかどこでも言われているんですけども、そういった中で疲労困憊している看護集団を抱えて苦労している方達がこの姿を見て、何かを感じて欲しい。何かを感じて現場で実行してくれたら、日本全国の病院が良くなるんじゃないかなと思います。
（DVD の中より抜粋）

愛媛県立医療技術大学准教授　　健和会補助器具センター前所長　窪田 静
寝たきり大国、二次障害大国であり続ける日本は、先進国唯一の福祉用具嫌いの国でもあります。福祉用具が患者から看護師の手を遠ざけるものではなく、より近くするものであること、看護を取り戻すのに不可欠であることを見事に証明してくれた実践です。

患者さんがその人らしく、看護師が働きやすい病院を
【この映像を推薦します】
北海道医療大学名誉教授 / 新潟県立看護大学名誉教授　中島 紀恵子先生
病に苦しむ身体が放射する生活、暮らし、人生、この「からだ」の苦楽に「触れて、震える手」の力が、看護師はじめケアにあたる者の仕事の源泉になる。これへの知と技は、学ぶ者のたゆまぬ習練によって手にすることができる。美須賀病院看護チームの「て・あーて」の実践に続こう。

慶應義塾大学看護医療学部教授　太田 喜久子先生
て・あーての実践は、ケアの原点だと思います。現代の目まぐるしい医療の中で置き去りにしてきてしまったものを取り戻さなくてはなりません。
看護師のあたたかい手が触れることで、患者さんはからだも心も解きほぐされ、看護師も喜びを感じ、病院全体が生き生きと活動するようになるというすばらしい実例が勇気を与えてくれます。

聖路加国際大学大学院看護学研究科教授　菱沼 典子先生
看護はどこへ行ってしまうのか、そんな不安を覚える看護管理者の皆さん、ぜひご覧ください。生き生き働きたい看護師やリハビリの皆さん、そして基礎教育に携わる皆さん、私たちが向かうところを確認できる物語です。

福井大学医学部看護学科教授　酒井 明子先生
「て・あーて」を病院全体で取り組んだ看護実践改革モデルの DVD である。ケアを受ける側の声を聴き、手で感じて気づいたことを実践することで患者の笑顔が増え、生きる力を引き出し、看護者自身も看護を見つめ直すという相互作用から看護の意識が拡大していく姿に感動する。

一般社団法人 日本ノーリフト協会 代表理事　保田 淳子先生

活動を始めて福祉用具は、腰痛予防だけでなく拘縮の軽減にもつながることを実感してきました。
新しいことに挑戦する際に、「時間がない。お金がない。人がいない。」と取り組む前から言い訳を探しがちですが、美須加病院で実践されていることは、まさしくオーストラリアで聞いた「看護の文化を変えていく」 一歩だと感じています。

聖路加国際大学大学院看護学研究科准教授　大久保 暢子先生
この病院では、最先端の福祉用具と医療者の手が調和し、患者の生きる力が最大限引き出されていました。都会で最先端の看護をしていると思っていた私は、この病院で改めて患者にすべきことの本質を学びました！

森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科教授　上田 喜敏先生
患者さんの視点に立って手を差し伸べている素晴らしい病院スタッフの介助と福祉用具を積極的に使うことで入院患者さんと病院のスタッフの方々の安全（安全な介助）が図られたとても素晴らしい映像になっています。見られるとすぐに解ると思います。

合資会社オファーズ
生き活きサポートセンターうぇるば高知　理学療法士　下元 佳子先生
対象者の方の想いを聴き感じとるという基本の姿勢と、そして何ができるのか何をしなければいけないのかをみんなで考える、そこにあたりまえに福祉用具が導入される。基本姿勢から「チームアプローチ」の本来のあり方を学びました。

はじめに
看護本来の姿は、患者の自然の回復過程を整え、苦痛の緩和を図ることです。この DVD では、て・あーての技術や福祉用具を使い、患者さんのために何かをしたいと看護本来の姿を求め、ケアを行う姿が描かれています。
愛媛県今治市にある美須賀病院では、看護師不足や職員の高齢化といった課題を抱えていました。しかし、て・あーての技術や福祉用具を活用したケアを取り入れることにより、解決の糸口を見いだしています。
本 DVD は、看護の原点を見直し、病院が患者さんにとっても働く職員にとっても良い環境となることを願い作成いたしました。

第 1 巻 患者の治る力を引き出す ～て・あーてを実践する～（約 19 分）

愛媛県今治市にある美須賀病院では、今、臨床現場に川嶋みどり先生がすすめる「て・あーて」を導入しています。
すると、症状が改善する人が出たり、コミュニケーションをとるのが難しかった人がとるようになるなどいろいろな効果があらわれ、患者さんの生きる力を引き出すことができました。
スタッフは今、患者中心の手を使ったケアを大切にしようと日々のケアに取り組んでいます。

第 2 巻 福祉用具を活用し仲間が辞めない職場づくり ～ある地方病院の取り組み～（約 38 分）

かつて美須賀病院は、地方の病院に新卒の看護師が来ないことや職員の高齢化により看護師不足に悩んでいました。そして、そのことが患者さんにも職員にも負担となっていました。しかし、臨床現場に福祉用具を導入することにより、力仕事から職員は開放されることで介護負担が減り、今まで、力任せの看護を請けていた患者さんは体のこわばりが緩み、症状の改善が見られるようになりました。
今、この病院では、“腰痛を理由に退職する仲間を作らない、75 歳まで元気で働こう”を目標に頑張っています。

第 3 巻 患者の生きる力を引き出す ～て・あーて、福祉用具を活用した実践例～（約 38 分）

「て・あーて」の技術や福祉用具を導入することにより、患者さんの“生きる力”を引き出します。ここでは、
窪田先生のコメントとともに美須賀病院の実例を見ていきます。
＜登場する実例＞
・脳出血で体を動かせなかった人が歩くことから生きる意欲を感じて
・オイルマッサージで浮腫が軽減
・背面開放座位保持具で意識の改善
・体の拘縮のある人がリフトを使うことで拘縮がとれる
・リフト歩行
・病院で福祉用具活用の有効性を学び在宅生活へ

よくある場面から学ぶ多重課題（全3巻）

原案監修：渕本 雅昭（東邦大学医療センター大森病院 看護部 急性・重症患者看護専門看護師）
原　　案：橋本 裕（東邦大学医療センター大森病院 看護部 老人看護専門看護師／看護部教育専従）
　　四本 竜一（東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター 看護部 主任看護師）
　　伊勢 圭則（東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター 看護部 主任看護師）
　　山村 尚裕（東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター 看護部 主任看護師）

価格 (DVD) 全 3 巻セット 84,000 円＋税／各巻 28,000 ＋税
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》(2016 年 7 月制作)
現在の多重課題の研修は、主に机上訓練やシミュレーションです。
しかし、机上訓練はリアリティに欠け、シミュレーションは手間がかかるという欠点があります。本シリーズは、臨床判断能力の育成に寄与することを目的としたシミュレーション学習の視聴覚教材です。経験の浅い看護師が臨床場面で直面する多重課題場面として【予定変更】【報告･相談】【複数の行為の優先度】【複数の人との関わり】の４つのキーワードとした事例を提示します。また対応例を示し、対応のポイント、優先順位の判断の根拠などについて解説します。演習やグループワークでご活用ください。

Vol.1 総論・予定変更1 (16 分)

総論：多重課題とは何か、またよくある多重課題の場面と、多重課題に直面した時の新人看護師の特徴などについて解説します。
予定変更 1：腰椎椎間板ヘルニアで入院中の後藤さんには、点滴投与とリハビリが予定されています。点滴を繋ぎに訪室すると、後藤さんから売店に行きたいとの訴えがあります。

《Index》●総論 7:33
●予定変更 1 よくある場面 3:04
対応例 1 , 対応例 2 2:30
解説 2:23

Vol.2 予定変更2(報告･相談)･複数の行為(19 分)

予定変更 2（報告・相談）：虫垂炎の保存的治療で入院中の加藤さんには、全身清拭が予定されています。清拭のために訪室すると、腹痛の訴えがあり、清拭を拒否します。
複数の行為の優先度：新人の小林看護師は、佐々木さんと平田さんの 2 人の患者を担当しています。佐々木さんからのナースコールを受けた直後に、平田さんからもナースコールがあります。

《Index》●予定変更 2（報告・相談）よくある場面 3:23
対応例 1 , 対応例 2 3:26
解説 3:17
●複数の行為よくある場面 2:48
対応例 1 , 対応例 2 2:24
解説 3:33

Vol.3 複数の人との関わり1・2 (20 分)

複数の人との関わり 1：一過性脳虚血発作で入院中の山中さんからナースコールがあり訪室すると、同室の林さんからトイレに行きたいとの訴えがあります。
複数の人との関わり 2：高木さんの点滴刺入部の痛みの対応中に、認知機能障害を持つ富田さんへの対応が必要な状況となります。その時、別の患者の家族からのクレームがあります。

《Index》●複数の人との関わり 1 よくある場面 4:00
対応例 1 , 対応例 2 1:59
解説 2:41
●複数の人との関わり 2 よくある場面 4:23
対応例 1 , 対応例 2 3:44
解説 3:32

看護における KYT (危険予知トレーニング) (全3巻)

監修： 佐藤 みつ子（国際医療福祉大学大学院 教授）
指導：川村 真由美（国際医療福祉大学大学院）
横山 正江（了徳寺大学健康科学部看護学科）
加治 美幸（了徳寺大学健康科学部看護学科）
協力：了徳寺大学／八潮中央総合病院

価格 (DVD) 全 3 巻セット 75,000 円＋税／各巻 25,000 ＋税
《公共図書館･視聴覚ライブラリー＝貸出可･上映可》(2015 年 7 月制作)
危険の発生前に画面が止まりシンキングタイムとします。その後、危険ポイントを示し、選択順に解説 VTR が始まります。

第 1 巻 KYT の基礎知識 (約 32 分)

1. イントロダクション
2. ＫＹＴ（危険予知トレーニング）とは
3. ＫＹＴの手法
4. ＫＹＴ基礎４ラウンド法・３つの原則
①第１ラウンド　現状把握　②第２ラウンド　本質追究　③第３ラウンド　対策樹立　④第４ラウンド　目標設定　⑤３つの原則
5. ＫＹＴの実際（療養生活時のリスク事例）
①インタビュー（KYT をやってみて）　② KYT のまとめ

第 2 巻 KYT の実践【ヒヤリハット事例 I 】(約 40 分)

1. イントロダクション
2. 環境整備時のリスク事例
3. 口腔ケア時のリスク事例
4. 食事介助時のリスク事例
5. 足浴時のリスク事例
6. 排泄介助時のリスク事例
7. ベッド移動後のリスク事例
8. まとめ・センタード・ケアの視点（2：57）
まとめ（1：26）

第 3 巻 KYT の実践【ヒヤリハット事例 II 】(約 37 分)

1. イントロダクション
2. バイタル測定時のリスク事例
3. 点滴管理中のリスク事例
4. 清拭時のリスク事例
5. シャワー浴時のリスク事例
6. ストレッチャー移乗時のリスク事例
7. 歩行訓練中のリスク事例
8. 退院時のリスク事例
9. まとめ

教材申込書　FAX03-5452-3242

下記のとおり申し込みます。

お申し込み日　平成　年　月　日				至急の場合の納付期限　平成　年　月　日	
所在地 団体名 名　前	〒				
	TEL		FAX		
教　材　名				数量	金　額
1.					
2.					
3.					
お支払い予定日　年　月　日			合計金額		円
通信欄	※請求方法等、ご要望がありましたらご記入ください。				